

2018年 JMIRI シンポジウム

データマイニング手法を用いた
医療情報データベースの新たな活用方法
～ドラッグ・リポジショニング～

開催案内

日程

2018年 9月 14日(金)
15:00～17:30 (受付 14:00)

会場

トラストシティカンファレンス・丸の内
(JR東京駅 徒歩1分)

2018年JMIRIシンポジウム

「データマイニング手法を用いた医療情報データベースの新たな活用方法 ～ドラッグ・リポジショニング～」

日程：2018年9月14日（金）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR東京駅 徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

開催趣旨

昨今の製薬企業は研究開発費が右肩上がりであり伸びているにもかかわらず新薬創出数は減少しているといった大変厳しい状況を迎えております。さらに社会保障制度の財政的な負担増に伴う医療制度の見直し、よりエビデンスを重視した情報提供活動機運の高まり、M&Aの活発化など、変化への柔軟な対応が製薬企業に求められています。

直近では2018年にGPSP省令改正が行われ、メディカル/医薬品安全性分野は大きな変化を迎えました。この改正により、既存の製造販売後調査手法に加え、電子的な医療情報データベースを用いた手法が認められ、マーケティング分野中心に活用されていた医療情報データベースの活躍の舞台が広がってきています。

このような背景のもと、製薬企業におけるリアルワールドデータの利活用について議論していく場として、今回のシンポジウムを開催することといたしました。これまで医療情報データベースの活用事例の少なかったドラッグリポジショニングや安全性監視を中心に皆様と共に考えていきたいと思っております。

趣旨にご賛同頂き、シンポジウムにご参加頂けますことをお願いいたします。

2018年JMIRIシンポジウム テーマと講演

『大規模処方データベースのドラッグ・リポジショニングへの活用』

近畿大学 薬学部 臨床薬剤情報学分野 教授 薬剤師 博士（薬学） 高田 充隆 氏

『多様化する医療ニーズを指向したデータベース研究

～有害事象自発報告データベースの活用～』

近畿大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学部 准教授 薬剤師 博士（薬学） 細見 光一 氏

『網羅的医療情報データベース解析ツールの開発

～ドラッグ・リポジショニングへの活用を目指して～』

株式会社医療情報総合研究所 データソリューション統括部

セールス & ビジネスディベロップメントグループリーダー 吉澤 具泰

キーワード

- ・ データベース研究
- ・ PMS(Post marketing surveillance)
- ・ PV(Pharmacovigilance)
- ・ メディカルアフェアーズ
- ・ 臨床研究
- ・ RWD(Real World Data)
- ・ マーケティング
- ・ エビデンス構築
- ・ メディカルコミュニケーション
- ・ ドラッグリポジショニング
- ・ 適応追加、適応拡大

当シンポジウムのご案内は、製薬企業のメディカル部門、安全性/信頼性保証部門、マーケットアクセス、薬事、アナリティクス、マーケティング、事業企画/経営企画部門のスタッフ、管理職、役員の皆様にお送りしております。



株式会社医療情報総合研究所

2018年JMIRIシンポジウム

「データマイニング手法を用いた医療情報データベースの新たな活用方法 ～ドラッグ・リポジショニング～」

日程：2018年9月14日（金）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR東京駅 徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

スケジュール

日程：2018年9月14日（金）

14:00 ～ 15:00 受付

15:00 ～ 15:10 挨拶：開会のごあいさつ

株式会社医療情報総合研究所

15:10 ～ 15:50 講演：『大規模処方データベースのドラッグ・リポジショニングへの活用』

近畿大学 薬学部 臨床薬剤情報学分野 教授 薬剤師 博士(薬学) 高田 充隆 氏

15:50 ～ 16:10 休憩：コーヒースタンド

16:10 ～ 16:50 講演：『多様化する医療ニーズを指向したデータベース研究
～有害事象自発報告データベースの活用～』

近畿大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学部門 准教授 薬剤師 博士(薬学) 細見 光一 氏

16:50 ～ 17:20 講演：『網羅的医療情報データベース解析ツールの開発
～ドラッグ・リポジショニングへの活用を目指して～』

株式会社医療情報総合研究所 データソリューション統括部
セールス&ビジネスディベロップメントグループリーダー 吉澤 具泰

17:20 ～ 19:00 情報交換会

※都合により講演者や演題は変更になる場合がございます

会場

トラストシティ カンファレンス・丸の内
東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワー N館 11階
TEL：03-6212-5211

交通のご案内

JR「東京駅」日本橋口より徒歩1分
地下鉄「大手町駅」B7出口より徒歩2分
地下鉄「日本橋駅」A3出口より徒歩4分

参加費とお申込方法について

- 事前振込 7,000円
- 当日現金でのお支払い 10,000円

※資料代、情報交換会代、消費税を含みます。



別紙「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、ファックス（03-3239-6842）、または同内容を e-mail（dms@jmiri.jp）でお申込ください。
参加申込用紙は弊社ホームページ（<http://www.jmiri.jp/>）からもダウンロードできます。
またウェブページ（<https://www.jmiri.com/rx/dms>）からお申込も承ります。

申込期限は2018年9月7日（金）です。なお、参加対象者は製薬企業の方のみとさせていただきます。
参加費は「振込」、または「当日現金」でお支払いください。振込の場合はお申込を承り次第、請求書を発行しますのでお手続きをお願いいたします。
但し、支払い方法に関わらず、ご参加の申込は必ず事前にお願いいたします。
ご不明な点は、株式会社医療情報総合研究所（TEL：03-3239-6840、e-mail：dms@jmiri.jp、担当：佐々木・長澤・水口）までお問い合わせください。



株式会社医療情報総合研究所

2018年JMIRIシンポジウム

「データマイニング手法を用いた医療情報データベースの新たな活用方法 ～ドラッグ・リポジショニング～」

日程：2018年9月14日（金）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR東京駅 徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

ご講演内容

大規模処方データベースのドラッグ・リポジショニングへの活用

[講師] 近畿大学 薬学部 臨床薬剤情報学分野 教授 薬剤師 博士(薬学) 高田 充隆氏

略歴：

昭和52年3月 長崎大学薬学部卒業
昭和54年3月 長崎大学大学院薬学研究科修了
昭和54年 国立大阪病院薬剤科
昭和63年 厚生省薬務局・生活衛生局
平成3年 国立療養所宇多野病院薬剤科 副薬剤科長
平成8年 国立循環器病センター薬剤部 副薬剤部長
平成18年 近畿大学薬学部 教授

講演の概要：

ドラッグ・リポジショニング研究における大規模処方データベースの活用について紹介する。
処方データベースを用いる Sequence Symmetry Analysis(SSA) が、ファーマコビジランスにおける未知の有害事象のシグナル検出手法として活用されているが、既存医薬品の新たな薬効、すなわちドラッグ・リポジショニングシグナルの検出方法としての活用の可能性について、事例を用いて紹介する。
さらに、副作用自発報告データベースを用いる不均衡分析結果との統合による、信憑性の高いシグナル検出方法の開発について解説する。

『多様化する医療ニーズを指向したデータベース研究～有害事象自発報告データベースの活用～』

[講師] 近畿大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学部門 准教授 薬剤師 博士(薬学) 細見 光一氏

略歴：

平成3年3月 京都薬科大学 卒業
平成5年3月 京都薬科大学大学院 修了
平成5年4月 日本チバガイギー 医薬事業部 研究開発統括部
平成9年4月 財団法人神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター 薬剤部
平成22年4月 近畿大学薬学部 医療薬学科 臨床薬学部門 臨床薬剤情報学分野 准教授

講演の概要：

各国の規制当局において有害事象自発報告データベース (Spontaneous Reporting System; SRS) が構築されている。膨大な量のデータを有する SRS を活用し、有害事象の因果関係のあぶり出しのため安全性指標として数値化する手法が知られている。また、性別、年齢、併用薬などに注目した安全性評価や、発現時期の情報、ポリファーマシー改善に向けた薬剤数の情報などに展開している。以上を踏まえ、SRS の活用と留意点を紹介する。

『網羅的医療情報データベース解析ツールの開発～ドラッグ・リポジショニングへの活用を目指して～』

[講師] 株式会社医療情報総合研究所 データソリューション統括部

セールス&ビジネスディベロップメントグループリーダー 吉澤 具泰

講演の概要：

これまで JMIRI データベースは、主に製薬企業のマーケティング部門で活用が進んでいたが、新たな活用可能性を探るべく、2018年に近畿大学薬学部と共同研究を開始した。
この研究は安全性監視・ドラッグリポジショニングをターゲットにしており、まだ道半ばであるが、ここまでの研究成果として JMIRI データの新たな活用事例をご紹介したい。



2018年JMIRI シンポジウム

「データマイニング手法を用いた医療情報データベースの新たな活用方法 ～ドラッグ・リポジショニング～」

日程：2018年9月14日（金）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR 東京駅 徒歩 1 分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

参加申込用紙

FAX 宛先 : 03-3239-6842

E-mail : dms@jmiri.jp

申込締切り : 2018年9月7日（金）

貴社名

ご所属・役職名

ご氏名

ご住所

TEL

FAX

E-mail アドレス

情報交換会

ご出席

ご欠席

お支払方法

事前振込

当日現金でのお支払い

- ・上記に必要事項をご記入の上、ファックス（03-3239-6842）、または同内容を e-mail（dms@jmiri.jp）でお申ください。
- ・弊社ホームページ（<https://www.jmiri.com/rx/dms>）からもお申込みが可能です。
- ・申込期限は 2018 年 9 月 7 日（金）です。なお、参加対象者は製薬企業の方のみとさせていただきます。
- ・参加費について 事前振込・・・7,000 円（資料代、情報交換会費、消費税含む） 当日現金でお支払い・・・10,000 円（資料代、情報交換会費、消費税含む）
- ・参加費のお支払方法は、「銀行振込」または「当日現金」となります。振込の場合はお申込を承り次第、請求書を発行しますのでお手続きをお願いいたします。但し、支払い方法に関わらず、ご参加の申込は必ず事前をお願いいたします。

※ご不明な点は、株式会社医療情報総合研究所（TEL：03-3239-6840、e-mail：dms@jmiri.jp、担当：佐々木・長澤・水口）までお問い合わせください。

個人情報取扱方針

ご提供いただく個人情報のお取り扱いの方針について、以下の通り通知いたします。予め個人情報の取り扱いに関する事項にご同意の上、お申ください。

<事業者の氏名または名称> 株式会社医療情報総合研究所

<個人情報管理責任者> 株式会社医療情報総合研究所 経営企画部長

<個人情報の利用目的> シンポジウムの開催、運営を円滑に対処するため。サービスやシンポジウム、セミナー等のご案内のため。

<個人情報の第三者提供について> 本人の同意がある場合又は法令に基づく場合を除き、取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

<委託> 取得した個人情報の取扱いの全部又は、一部を委託することはありません。

<個人情報提供の任意性について> お預かりする個人情報の内容については任意と致しますが、必要な個人情報項目が未記入の場合、参加をお断りする可能性があります。また、お問い合わせに対応できない場合があります。

<開示対象個人情報の開示等問い合わせ窓口について> ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去および第三者への提供の停止（「開示等」といいます。）を受け付けております。開示等を受け付ける窓口は、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」をご覧ください。

<個人情報保護方針> 弊社ホームページの個人情報保護方針をご覧ください。URL：<http://jmiri.jp/privacy/>

<個人情報苦情及び相談窓口> 株式会社医療情報総合研究所 個人情報苦情及びご相談窓口

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-25 住友神保町ビル 6F TEL：03-3239-6840（受付時間 月曜日～金曜日 祝祭日を除く 10 時～17 時）



株式会社医療情報総合研究所